

## 全国仮設安全大会メッセージ

全国仮設安全大会の開催、そして事業協同組合創立10周年おめでとうございます。

貴組合が、とりわけ建設職人・親方の墜落災害、死亡災害をなくす立場から、小野理事長を先頭に奮闘されておられますこと、私どもの組合においても同様に鋭意努力していることではありますが、心より激励のご挨拶を申し上げます。

貴組合の創立10周年記念全国仮設安全大会へのご案内をいただきましたが、担当役員ともども日程が重なり出席が叶わないこととなり、メッセージとさせていただきます。

全国建設労働組合総連合(全建総連)は全国すべての県に53の加盟組合、約68万人の組合員を擁しておりますが、昨年43人の仲間が現場労働で尊い命を亡くされました。これまでも「墜落転落死亡災害をなくす」目標と事故防止対策を掲げてきましたが、残念ながら墜落転落による災害は全死傷災害の25.6%に及んでおります。この墜落転落災害をなくすことの重要性和困難さを強く感じているところでもあります。亡くなられたご遺族の悲しみにも応えるためにも、危険な建設現場をなくす本格的な対策が必要と感じております。

私どもは、災害統計に「労働者でない者」として一人親方等が漏れていること、こうした就業者を含めた対策が必要と訴えているところでもあります。組合員の墜落転落災害では、就労状況調査によって災害統計に載る雇用された労働者は35.9%であります。一人親方・事業主が64.1%を占めている現状でもあります。さらに実際に見えない災害としての「労災かくし」も憂慮される事態にあると認識しており、こうした災害をなくすためにも、建設産業にまともなルール構築が必要であると考えております。

そのための努力を続けているところではありますが、貴組合におかれましては、「足場からの墜落災害ゼロ」という目的に向かって、独自に各方面に強いメッセージを発信されておられることに敬意を表したいと思います。

文字通り、建設産業から現場で働く人すべての墜落災害、死亡災害をなくすために、今後ともそれぞれの立場で運動、取り組みを強化し、死亡災害ゼロに向けて奮闘していきたいと思っております。

貴組合の安全大会がさらなる成果をあげられますようご期待申し上げ、メッセージと致します。

2010年11月17日

全国建設労働組合総連合

書記長 古市 良洋